

市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会記録
【 速 報 版 】

令和8年4月21日開会

速報版

- ・この会議録は録音を文字起こしした初稿のため、誤字脱字がある場合があります。
- ・正式な会議録が作成されるまでの暫定的なもののため、今後修正されることがあります。
- ・正式な会議録が掲載された時点で速報版は削除されます。

横 浜 市 会

開会時刻 午前10時00分

◎ 開会宣告

- 麓理恵委員長 おはようございます。
これより委員会を開会いたします。



◎ 調査・研究テーマ「つながり再構築に向けた地域支援」について

- 麓理恵委員長 それでは、議題に入ります。

調査・研究テーマ「つながり再構築に向けた地域支援」についてを議題に供します。

なお、本日オブザーバーとして、市民局及び行財政局の関係職員にも出席いただいておりますので、御了承願います。

それでは、委員会中間報告書を御覧ください。

こちらは、本委員会の1年間の活動経緯や議論の内容等をまとめた中間報告書案でございます。

中間報告書につきましては、委員長名をもちまして議長に提出することとされております。

御覧いただいている案文につきましては、これまでの委員会の活動の内容を基に正副委員長で取りまとめさせていただきました。

まず、中間報告書案の概要につきまして、私のほうから説明をいたします。

それでは、2ページを御覧ください。

1、付議事件、2、調査・研究テーマ、3、テーマ選定の理由を記載しております。

また、4、活動内容・意見等については、2ページから13ページにかけて記載しております。

なお、13ページの(6)でございます本日の委員会の概要につきましては、後ほど追記いたします。

14ページは、5として、まとめを記載いたしました。

まとめの要点には下線を引いておりますので、下線部分を中心に概要について御説明いたします。

本市の市民意識調査では、約6割の市民が社会貢献意識を有している一方、実際に地域活動への参加するのは2割前後にとどまるなど、意欲と行動の間に大きな隔りがあることや、多様で複合的な課題が同時に進行しており、従来型のコミュニティ構造だけでは対応が難しい状況にあります。

こうした中、よこむすびによる活動情報の一元化と発信強化、若者ボランティア派遣や多世代交流拠点支援など、新たな参加者を生み出す環境整備が進められています。

市民協働推進センター、各区市民活動支援センターを核とした中間支援体制の強化、職員研修や空き家活用支援など、地域拠点の課題解決に向けた伴走支援も行われています。

参考人からは、住民の主体的活動を促すためには、行政・民間・地域組織を媒介とする中間支援の機能強化が不可欠であることと、行政の丁寧な後方支援、情報発信の改善や柔軟な制度運用の必要性が示されました。

地域コミュニティを活性化させるためには、今まで関わっていなかった人々が地域に関わり始める、最初の一步を後押しする仕組みづくりが欠かせないとし、さらに活動の受皿となる地域拠点が安定して運営を続けられるよう、拠点の継続性を支える仕組みを整えることも重要であるとしています。

行政職員が地域に継続して関わることで、行政と地域の間に確かな信頼関係を築くことに加え、よこむす

びのように地域で行われている活動を発信し、住民参加を促すことや、支援制度のオンライン化による手続の負担軽減などを図ることが重要であり、積極的にDXを活用していく必要があります。

本年度の本委員会では議論を踏まえ、誰もが無理なく、かつ自分らしく関わり続けられるよう、負担の少ない関わり方や、柔軟な参加の機会を広げていくことが、持続的な地域コミュニティづくりに必要であるとまとめています。

案につきましての私からの説明は以上です。

この案をもちまして、中間報告書として確定したいと考えておりますが、委員の皆様から御意見がございましたら、ぜひお伺いしたいと思います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- **麓理恵委員長** 特に御発言もないようですので、この案を本委員会の中間報告書として、委員長名をもちまして議長宛てに提出いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- **麓理恵委員長** 御異議ないものと認め、さよう決定いたします。

なお、字句の整理につきましては、正副委員長に御一任いただきたいと思います。

また、確定した中間報告書につきましては、改めて委員の皆様へ配付いたしますので、よろしくお願いをいたします。

以上で、本日の議題は終了いたしました。本構成による委員会は、本日が最終になるかと思われますので、本委員会の中間報告書を提出するに当たり、御出席いただいております市民局及び行財政局から所感をお伺いしたいと思います。

- **檜山市民局地域支援部長** ありがとうございます。市民局地域支援部長の檜山でございます。

市民局を代表して所感を述べさせていただきます。

本委員会では、麓委員長、鴨志田副委員長、黒川副委員長をはじめ、委員の皆様方に、誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり、また、地域コミュニティの活性化に向けて御議論をいただき、多くの貴重な御意見を頂戴できたことを心より感謝申し上げます。

令和7年度は、本委員会の設置初年度として、つながり再構築に向けた地域支援をテーマに御議論をいただきました。

人口減少やライフスタイルの多様化などに伴い、地域のつながりが希薄化する中、地域コミュニティを活性化させるためには、報告書にもまとめていただいておりますように、誰もが無理なく自分らしく関わり続けられる仕組み、また、環境整備がいかに重要であるかを改めて痛感したところでございます。

現在策定中の横浜市中期計画におきましても、地域で共に支え合い、誰もが自分らしく活躍できている暮らしやすいまちの実現に向けて、暮らし・コミュニティに関する様々な施策を進めることとしております。

当局としても、引き続き各地域の実情に即した継続的な支援、また、よこむすびなど地域活動の参加促進につながる、効果的な情報発信などにしっかりと取り組んでまいります。

最後に、委員の皆様方の広い見識に基づく調査・研究に対し、感謝を申し上げまして、市民局の所感いたします。1年間どうもありがとうございました。

- **麓理恵委員長** ありがとうございました。

- **喜多行財政局共創・ファシリティマネジメント推進室長** 行財政局共創・ファシリティマネジメント推進

室長の喜多と申します。

行財政局を代表いたしまして、所感を述べさせていただきます。

麓委員長、鴨志田副委員長、黒川副委員長をはじめ、委員の皆様におかれましては、誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくりや地域コミュニティの活性化につきまして、幅広い視点から御議論いただきまして、誠にありがとうございました。

機構改革により、今年度から協働と共創の所管が行財政局共創・ファシリティマネジメント推進室に移管され、市民活動団体、NPO法人、そして企業、学校など非営利、そして営利各セクターの多様な主体との連携をより一層一体的に推進する体制となりました。

本報告書でいただきました御意見などを踏まえまして、所管する市民協働推進センターとともに、社会課題や地域課題の解決に向け、活動団体・企業などの皆様や、市民局をはじめとした各局と連携し、協働・共創の取組を通じた地域コミュニティの活性化に取り組んでまいります。

委員の皆様方には、今後とも一層の御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

○ 麓理恵委員長 どうもありがとうございました。

それでは、正副委員長を代表いたしまして、私から一言御挨拶を申し上げます。

今年度は、つながり再構築に向けた地域支援について、調査・研究テーマとして1年間、あまりテーマを絞り込むことなく、幅広い視点から議論を重ねてまいりました。

本市の施策について、事業所管局より説明を聴取するとともに、参考人として一般社団法人ソーシャルコーディネーターかながわ代表理事の手塚明美氏と、NPO法人街カフェ大倉山ミエル理事長鈴木智香子氏のお2人にお越しいただいて、意見聴取を行い、委員の皆様からも貴重な御意見をいただきながら、委員会活動を行うことができました。

このたび、黒川・鴨志田両副委員長をはじめ、委員の皆様方の御協力によりまして、本委員会の報告書を提出する運びになりましたことを心より感謝申し上げます。

本構成による議論は、報告書の提出をもちましてひとまず終了という形になりますが、社会環境の変化や価値観の多様化が進む中で、誰もが居場所と役割を持ち、自分らしく地域につながり、安心して暮らし続けるまちづくりを実現するために、当局におかれて、継続した地域支援、専門人材の育成、拠点支援、広報周知の強化など、地域団体の実態に即した柔軟かつ実効性ある支援体制の構築等について、一層の取組を推進することを期待します。

最後になりましたが、円滑な委員会運営に御協力いただきました委員の皆様並びに当局の皆様を重ねてお礼を申し上げまして、正副委員長を代表しての挨拶といたします。1年間、誠にありがとうございました。



◎ 閉会宣告

○ 麓理恵委員長 以上で本日の議題は終了いたしましたので、委員会を閉会いたします。

お疲れさまでございました。

閉会時刻 午前10時10分